

2017年（平成28年）学校開放見学会

11月26日（土）快晴のもとで学校開放見学会を実施いたしました。多くの皆さまにご来校いただき開始時刻を早めての開催となりました。卒業生はもとより、地域の方や保護者の方々など600名を超える皆さまにご来校いただきました。

ご参加いただいた皆さまから多くのメッセージも頂戴いたしました。3月の閉校舎式の際に校内へ掲示させていただくとともに、ご了解をいただいた方のメッセージにつきましては、学校のホームページで順次紹介させていただきます。

「母校を最後に一目見たい」

洛陽工唐橋校舎あす公開

思い刻むカード用意

京都新聞 平成28年11月25日（金）朝刊 市民版



洛陽工業高校、洛陽高校、第一工業学校
唐橋校舎へのメッセージ

62年振りに来校し非常に懐かし
思い出湧いて来ました。2学年の時
の教室が今はパソコン教室になって
居り時代の変化を感じました。
2学年時に全校水泳大会で全校
1位になった事を思い出しました。
実習教室の機械工場を見せて
もらった時機械油の臭いがなま
しく思い出します。ああ昔情！！

洛陽工業高校、洛陽高校、第一工業学校
唐橋校舎へのメッセージ

数十年ぶりに母校の校舎を訪れ懐かし
当時の事を思い出す。
夕陽迫る古びた校舎の周回式窓灯り、熱き思所
と茶に暮いし学んだ友との語らい。今にも胸に染
み入る染みだらけの講堂の天井。当時を懐かし思い、
永遠に渡り多くの生徒を送り出た古びた校舎。
当時の私にとって、心の拠りどころであり、何故か
落ち着く見いの場所であった。
世紀への希望を胸に、限りなき我らの心に
誇り尚し学ばせよ。今までもありがとう
洛陽高校 いつまでも輝くおのれ



洛陽工業高校、洛陽高校、第一工業学校
唐橋校舎へのメッセージ



一年の時 体育祭の役割でバックスリットン
だったのがいきなり先輩に応援団に引
はられ「お前3年になったら団長やれ！」と
決果的に 応援団で楽しい3年間過ごした
思い出多い この学校が無くなってほうのは
さびしいです。

ありがとう 洛陽工業高校
長い間 お疲れ様でした。



洛陽工業高校、洛陽高校、第一工業学校
唐橋校舎へのメッセージ



とても落ちついた レトロな校舎が
大好きでした。最後にこの校舎で
3年間 学ぶことができて良かった。
思い出の場所がなくなることには
残念ですが、大切に いっまでも
心に残しておきます。

唐橋校舎 おつかいさまでした。



2017年（平成29年）閉校舎式典

3月22日、洛陽工業高校唐橋校舎の82年間の教育活動を閉じる閉校舎式を講堂にて挙行了しました。式典の参列者は約700名へと大幅に予想を上回り、3教室をサテライト会場として設置しました。卒業生はじめ近隣の方々を含め、多くの方々に足を運んでいただきました。

学校長の式辞では、「82年間を振り返り、日本はものづくり大国として経済を支えてきた。この校舎から全日制約25,100名、定時制約5,600名、あわせて30,700名を超える卒業生を社会に送り出してきたが、円筒形のエントランス、講堂の3つ並んだ溝がある窓など卒業生の皆さんに高校時代の思い出を蘇らせてくれる。唐橋校舎では地元唐橋地区と協働した活動も多くあった。唐橋地区の清掃活動やものづくりを通じた地域貢献、唐橋小学校や各施設のイベントへの参加、小学生を招いての見学会など地元に着した活動を行ってきた。こうした取組みを通して生徒たちは大きく成長したが、もうすぐこの校舎ともお別れとなる。来年度から、南区唐橋から伏見区深草の地へと移転する。洛陽スピリットを持ってオール洛陽として頑張ってもらいたい。結びに唐橋校舎への感謝と本校教育にご支援いただいた地元唐橋の皆様に深く感謝申し上げます。」との挨拶がありました。

門川大作京都市長はじめ来賓の方々のご挨拶、および来賓の紹介ののち、『唐橋校舎のあゆみ』をスライドで紹介、サテライト会場では多くの方々から当時を懐かしむ歓声が上がり、校舎の長い歴史を改めて感じさせました。こののち生徒代表挨拶に引き続いて、生徒課題研究『洛陽メモリアルプロジェクト』の紹介を行い、学校をさまざまな形で残そうとコース別ホームページの作成やバーチャルツアーの実演などが行われました。

式典ののちは、本館を中心に校舎見学会が開催され「洛陽メモリアルプロジェクト」や「唐橋校舎へのメッセージ」の展示コーナーなど多くの方々が訪れ、写真を撮ったりと、思い出が残る校舎との別れを惜しんでおられました。



京日記
◆学校統合により今月末で使われなくなる洛陽工業高唐橋校舎（京都市南区）で22日、「閉校舎式」があり、卒業生や地域住民、保護者ら約

700人が学舎との別れを惜しんだ。写真。
◆2年生は4月から京都工學院高（伏見区）の校舎に通う。式で牛田豊嗣校長は「洛陽スピリットをつないでほしい」、唐橋自治会連合会の天野広一会長は「唐橋を忘れず、学校が発展してほしい」と話した。
◆現校舎とともに1935年に現在地に移転した当時の第一工業学校校歌も斉唱。式後は校舎を背景に記念撮影する卒業生もいた。
（山田修裕）

京都新聞 平成29年3月23日（木）





2018年（平成30年）卒業式・閉校式

平成30年3月3日、平成29年度の卒業式を挙行了しました。朝から穏やかな晴天となり絶好の卒業式日和になりました。式の冒頭、卒業証書の授与がクラス代表に行われ学校長から卒業証書が手渡されました。

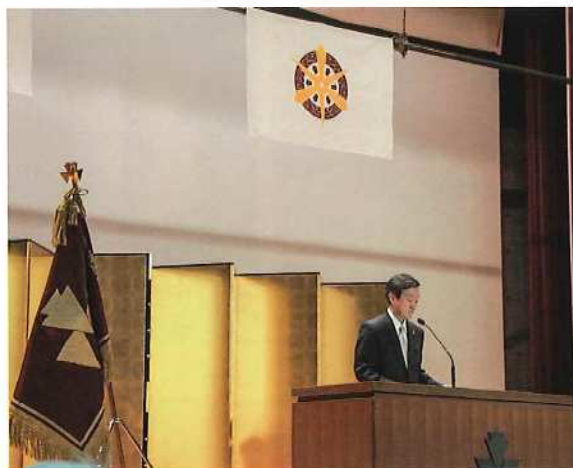
学校長からの式辞や来賓の祝辞に引き続き、京都工学院高校の生徒会長からの在校生送辞が述べられた後、卒業式答辞がしめやかに行われ119名が洛陽締めくくりの卒業生として巣立っていきました。また、卒業式に引き続き閉校式が挙行されました。在田正秀教育長の式辞に引き続き門川市長メッセージ、来賓挨拶、学校長挨拶のあと生徒の言葉が述べられました。

この後、『洛陽のあゆみ』と題して洛陽の原点である染工講習所から市立染織学校、市立工業学校とその変遷をスライドで振り返りました。唐橋校舎の昔の写真からは移転当時の学校周辺の様子など歴史を感じさせられました。最後は参加者全員で校歌斉唱し、132年の幕を閉じました。

午後5時から洛陽京工会主催の謝恩会が、ウェスティン都ホテル京都瑞穂の間で307名の参加をいただいて行われました。洛陽京工会伊藤会頭の挨拶から始まり、歴代校長先生への感謝状贈呈、門川大作市長からの来賓挨拶などがあり、参加者は洛陽工業高校の思い出を語り合い、閉校謝恩会を終えました。









研修旅行の30年

年 次	研修場所
1987年（昭和62年）	白山一里野温泉スキー場
1988年（昭和63年）	白山一里野温泉スキー場
1989年（平成元年）	極楽坂スキー場
1990年（平成2年）	極楽坂スキー場
1991年（平成3年）	白山一里野温泉スキー場
1992年（平成4年）	妙高国際スキー場
1993年（平成5年）	北志賀高井富士スキー場
1994年（平成6年）	妙高杉ノ原スキー場
1995年（平成7年）	妙高杉ノ原スキー場
1996年（平成8年）	沖縄
1997年（平成9年）	妙高杉ノ原スキー場
1998年（平成10年）	妙高杉ノ原スキー場
1999年（平成11年）	妙高杉ノ原スキー場
2000年（平成12年）	妙高杉ノ原スキー場
2001年（平成13年）	妙高杉ノ原スキー場
2002年（平成14年）	北海道ニセコスキー場
2003年（平成15年）	妙高杉ノ原スキー場
2004年（平成16年）	北海道ニセコスキー場
2005年（平成17年）	妙高杉ノ原スキー場
2006年（平成18年）	妙高杉ノ原スキー場
2007年（平成19年）	志賀高原一の瀬スキー場
2008年（平成20年）	志賀高原一の瀬スキー場
2009年（平成21年）	志賀高原一の瀬スキー場
2010年（平成22年）	志賀高原一の瀬スキー場
2011年（平成23年）	沖縄
2012年（平成24年）	韓国
2013年（平成25年）	タイ
2014年（平成26年）	台湾
2015年（平成27年）	台湾
2016年（平成28年）	台湾
2017年（平成29年）	台湾



杉ノ原



北海道



沖縄



韓国



タイ



台湾